

暑中御見舞い申し上げます。

私達を取り巻く医療費の削減が進められています。
名古屋市腎友会は「命とくらし」を守るために活動しています。全員一致団結して努力していきましょう。



○ 後期高齢者医療制度について

・日本は世界に例のない国民皆保険でずっと来ましたが、医療は保険である。保険とは皆でいざという時に助け合う為のもの。それが2年前の強行採決(06年6月)で医療制度改革関連法案が通過し、2年たった今年の4月に同法案が実施されました。これは、一言でいえば姥捨て山にされてしまったようなもの。

・現在与党によって見直し案が検討されていて、保険料の軽減対策として今年度は年金収入が年間168万円以下の人は10月から半年間保険料徴収を凍結し、保険料の均等割りを85%減額、来年度以降は80万円以下の人は9割減額。同210万円以下の人は保険料の所得割を50%程度減額。また、年金からの保険料の徴収は申し出により口座振替が選べる。等々です。

日本は世界一の長寿国であり、国民が安心して老後を暮らせる制度でなければいけない。高齢者達に寂しさや哀しさを感じさせるような国に未来はない。私達のすべきことは、声を大にして行政に、政治家に働きかけねば、私達の思う良い国にはならない。共に頑張りましょう！！



○ 命のメッセージ



透析患者の「命綱」であるシャントを長持ちさせるには「狭さく」「閉塞」「感染」「出血」を予防することです。今回は、「狭さく」について載せます。シャントを作成することで、静脈に圧の高い動脈血が流れ込みます。この圧力に対抗するため、血管の内膜が厚くなり、血液の流れる道が細くなります。これが「シャント狭さく」です。常に血液の流れる音を聴いて異常を早く見つけま

○ 情報提供のお願い

・連絡先:NPO名古屋市腎友会 事務局長 高橋 元治
名古屋市熱田区2-18-24 今津ビル201号
TEL 052-653-6480 FAX 052-653-3271

編集後記(高橋金治記)

連日30℃を越す毎日に、小生いささかバテ気味の毎日ですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。この時期、透析患者は水分の補給も必要だが、取り過ぎも駄目で、自己管理が大変難しく体調を崩す方が多いと聞きます。体調管理に留意してこの夏を乗り切りましょう。